

地歴公民(世界史) 立命館大学 全学統一方式 (2/2実施)

<全体分析>

試験時間 80 分

解答形式

記述空所, 記述設問, 記号設問

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

大問4題, 小問50問で昨年と同じ。80分では時間が余るであろう。

昨年度の同日程と比べると, 難易度は変化なし。

出題の特徴や昨年との変更点

中国史2題, インド史1題, ヨーロッパ史1題。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	記述空所 記述設問 記号設問	欧陽脩の「日本刀歌」	欧陽脩の「日本刀歌」を題材に, 唐や宋と日本の関係について問う問題。 A の「日宋」貿易は問題文の限定が甘いので, 「対日」なども正答となりうる。 B の「明」州は, 浙江省という限定から導き出さねばならないので難しい。	標準
II	記述空所	近現代中国の女性	19世紀半ばから現代までの中国における女性の地位をテーマに, 関連する事項を問う問題。 A の「纏足」は漢字が難しいが, 他の空欄の漢字は平易なものが多く, しっかりと得点したい。	標準
III	記述空所 記述設問	13~17世紀のインド	13~17世紀のインドの諸王朝の盛衰を概観し, 関連する事項を問う問題。南インドの B の「チョーラ」朝や C の「ヴィジャヤナガル」王国は, 受験生にとっては難しいだろう。	標準
IV	記述空所 記述設問	フランス史における「革命」	フランス革命からド=ゴール時代の五月革命までをテーマとした問題。ナポレオン3世が「馬上の H 」と称されたという情報から「サン=シモン」を答えるのは難しい。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

一部に判断が難しいものもあるが, 教科書を中心にした学習で十分に合格点に達することができる。これに加えて山川出版社『世界史用語集』などを用いて正確な知識を身につけておきたい。ほとんどが記述式であり, 中国史は必ず出題されるので, 歴史用語を漢字で正確に書けるようにしておくこと。また, 文化史も頻出なので対策を怠らないようにすべきである。